

# 柏崎体育

発行所 柏崎体育団

編集人 石橋敏正

印刷所 柏崎印刷株式会社



1月20日に行われた  
新春体育懇親会。215  
名の参加で盛大に行  
われた。



親子連れの目立った  
市民スキー教室。  
お母さん方の上達が  
めざましかつた。

2・5	2・4	2・1	1・28	1・29	1・29	1・22	1・20	1・15
(柏高)	トボール信越予選会	大会(鶴川)	(鶴川スキー場)	市民スキー教室	(鶴川スキー場)	柏崎クラブ優勝	新春バスクケットボール大会(柏工)	新春バスクケットボール大会(柏工)
全国クラブ対抗バスケツ	トボール信越予選会	柏崎刈羽中学校スキー	新潟県ハンドボーラー選手権大会(柏工)	新春市民水泳記録会(中越スポーツハウス)	新春スキー検定会三百人の参加	バスクケットボールクラブ対抗県予選会	市民スキー教室(産業会館)	市民スキー教室(産業会館)
柏崎クラブ敗れる	柏崎クラブ敗れる	柏崎クラブ敗れる	柏崎クラブ敗れる	柏崎クラブ敗れる	柏崎クラブ敗れる	柏崎クラブ敗れる	柏崎クラブ敗れる	柏崎クラブ敗れる

あ  
し  
あ  
と

# （ザツクバランの

## 柏崎体育

柏崎体育団副団長 月 橋 喜

(問)

「柏崎体育を創立し支えた人々はたくさんおられると思いますが、それぞれの人達が、各自の確固たる信念をお持ちになり、違ったものであっても融合して、柏崎体育を支えて来たと思うのですが、現在の我々がよく耳にするその方々の体育思想は副団長さんからみて、どんなものだと思われますか。その方々とは洲崎義郎、坂田四郎吉、島掛藤次郎の三先生です。」

× × ×

この三先生の体育思想や業績を一番よく知っているのは私のほかないといつても過言ではありませんが、この短い時間に三先生の体育功績を言い尽すこと

はとても出来ません。それほど偉大だったということです。しかしそれは話の種にならないでしようから、いさかか乱暴な表現ですが、申し述べてみまし

ます。洲崎先生を貰っている体育思想は、自由主義的な理想思想であります。体育の実際には、きびしい科学主義的な態度、組織的な活動を自らも実践され、青年団のスポーツ指導はじめ、ことあるごとに強調されました。根元にあるものは明るい自由、眞・善・美を限りなく求める態度、よりよきものを無限に追求する方向であったと思います。

従つて体育史的には、ギリシャの都市形成と、そこに発達する体育を一つの理想型とされたのです。美術をよくな愛し、好みで哲学的な思考形式をされた洲崎さんは当然のことでありましょう。かつて刈羽郡青年団が県下青年団大会に一点も

それすれ惨敗した翌年、洲崎式訓練で堂々と優勝し、以後全国制覇の主力となつたこと、柏崎の庭球が関東大会にまで出て優勝するようになつたこと、洲崎式訓練で堂々と優勝し、以後全国

の先生がより上の実績を持つている所から来ます。たとえば県の青年団長は慣例により県の学務部長がなつてゐたのを改めさせて、民間人をもつていつたところから来ます。たとえば

次に坂田先生です。先生と一緒に教鞭もとつたことがありますから、親しく先生の御意見を聞いたり、実践をみたりしています。坂田先生はもう柏崎に二度と出で来ないタイプの先生ですが、この先生の体育は深い人生観から出ています。洲崎先生の理想論は思索による部面の多い理想論の感なしとしません

よう。

洲崎先生を貰っている体育思

想は、自由主義的な理想思想であります。体育の実際には、き

びしい科学主義的な態度、組織

的な活動を自らも実践され、青

年団のス

先生自身も全国大会の庭球で三位になられたことなど、単に選

手に恵まれたためではありません。

洲崎先生流にいえば、科学

的トレー

統制や、天降り式指導には断乎

として反対します。文部省とい

う権力や、県という名など何の

圧力にもなりませんでした。自

ら正當と信じない限り決して服

従しないのです。これを反骨と

いおうが、独善といおうが、洲

崎さんにとっても意に介するこ

とはなかつたのです。それは、

技術的に、具体的にも洲崎先生

の理想像がわかりません」とで

もいうことになるでしようか。

次に坂田先生です。先生とは

一緒に教鞭もとつたことがありますから、親しく先生の御意見

を聞いたり、実践をみたりして

います。坂田先生はもう柏崎に

2・22 高柳スラローム大会

(高柳)

2・26 市民スキー教室(鶴川)

スキー場

2・19 鯨波地区スキー教室

(鶴川)

2・12 高柳スラローム大会

スキー場

中通地区スキー教室

(池の平)

市民スキー教室(鶴川)

スキー場

これを裏付ける偉大なる実績があればなりません。洲崎先生はこれをなし得た人です。権威に屈せず堂々と自己を主張するこれが柏崎体育の根幹をなす精神なのです。怠者や、事大主義者では出来ないことです。

洲崎先生も晩年はいさか変つて来られたような所があり、人によつては、社会主義者が共产党の如くいっています。しか

し私は洲崎先生は、根本に於ては何も変らず、やはり理想的の追求者であつたと確信しています。

くりかえして言いますと、洲崎先生が柏崎体育に与えた精神は

「もっと勉強して考えなさい」

「もっと技術に科学的反省を加えなさい」

「実績こそ雄弁です。

正直いと信ずることは一步もひいてはなりません」

「体育を確立するには他の角度から見ねばなりません。それがないと体育の理想像がわかりません」とでもいうことになるでしようか。

次に坂田先生です。先生とは

鶴川地区民スキー大会

(鶴川)

2・26 青梅マラソンへ渡辺さん出場

体 育 指 導 委 員 定 例 会

(市役所)

2・26 市民スキー大会(鶴川)

スキー検定会

(高柳)

が、坂田先生のは、自らの体験から出ているのです。三十一才の時受けた徴兵検査が丁種合格という、最低ランクです。ここから坂田先生の体育への精進がはじまるのです。当然のことながら、先生の追求は健康の獲得は如何にすればよいのか、健康獲得の体育とは如何なる形態のものなのかということへ向います。

坂田先生の体育は体操がその主軸をなします。たまたま先生が体育の研究に入られた時が、県がいわゆるスエーデン体操をとり入れた時であつたこと（大正二年の体操要目）もありますが、私はこの「体操主軸」ということは見逃すことの出来ない重要なことだと思うのです。体育の本質はどうのこうのといふと、仲々むずかしくなります。しかし坂田先生の思想がわかるためにもこれだけは言つておかねばなりません。身体運動の中で、体育の中に入るものは次のものです。それを一つ一つ玉ネギの皮をむくようにして、最も特色とする所を表現しますなら次のようにになります。

スポーツ……勝敗  
ダンス……美

教武練……秩序  
遊戲（ゲーム）……興味  
生死

という、最低ランクです。ここから坂田先生の体育への精進がはじまるのです。当然のことながら、先生の追求は健康の獲得は如何にすればよいのか、健康獲得の体育とは如何なる形態のもののかということへ向います。

坂田先生の体育は体操がその主軸をなします。たまたま先生が体育の研究に入られた時が、県がいわゆるスエーデン体操をとり入れた時であつたこと（大正二年の体操要目）もありますが、私はこの「体操主軸」ということは見逃すことの出来ない重要なことだと思うのです。体育の本質はどうのこうのといふと、仲々むずかしくなります。しかし坂田先生の思想がわかるためにもこれだけは言つておかねばなりません。身体運動の中で、体育の中に入るものは次のものです。それを一つ一つ玉ネギの皮をむくようにして、最も特色とする所を表現しますなら次のようにになります。

スポーツ……勝敗  
ダンス……美  
遊戲（ゲーム）……興味  
生死

が、坂田先生のは、自らの体験から出ているのです。三十一才の時受けた徴兵検査が丁種合格という、最低ランクです。ここから坂田先生の体育への精進がはじまるのです。当然のことながら、先生の追求は健康の獲得は如何にすればよいのか、健康獲得の体育とは如何なる形態のもののかということへ向います。

競技場はそういう中で、民衆の力を結集して完成しました。柏崎体育団の前身である刈羽郡体育協会もこの建設の中に誕生したのです。そもそも組織とは何か、施設とはとか論ずる人はいらっしゃいますが、坂田先生のはただ陸上競技場がほしい、つくりたい、それだけの信念がこの力を発生させたのです。超人といつてしまえばそれまでですが人生観に発する体育観のすさまじいばかりのエネルギーを私はここに見るのです。洲崎先生と違った哲学的探求の姿を坂田先生にみるのです。体育というものに対し、実践し考え、自分でものを打ち建てる。それが誰のまねでもない自分がかたく信するものである。そしてその道をひたむきに走る。そういう姿が洲崎・坂田両先生に示される柏崎体育の本来の姿なのです。

明治三十三年に洲崎先生に足する柏崎体育は、大正中期に坂田先生を加えて加速されていきます。ここへに大きな力が加わりました。それが島掛藤次郎先生です。島掛藤次郎先生は昭和二年、佐渡の相川中学から柏崎中学へ転任して来られたのです。市長も助役も收入役も、近藤体育団長も石橋体育課長も私もみな教え子です。島掛先生の来られる前にも、柏崎中学の

陸上競技部は全国中等学校大會(いまのインターハイ)に準優勝していますから、名選手は何人もいました。しかしそれは陸上競技と庭球に限ったといつてもよいでしょう。それは洲崎先生がよく力を入れて指導されていました。島掛先生が来られてからは、単に二の種目でなく、多くの種目に名選手が出たことが目に付きます。野球であれ、バスケットボールであれ、柔道であれオリンピック選手をはじめとして、どうしてこう名選手が出たのであらうかということを検討してみなければなりません。

島掛先生の体育思想の特色をあげると、まず教育思想からの検討が根本にあつたということです。一例をあげますと、生徒全員に体育に関するテキストを持たせているのです。その内容は、体育原理はもちろんですが体育史、体育の発達系統表まで入っているものです。ガリ版刷りでなく、きれいな印刷物なのです。体育の専門学校か体育科の生徒ならいざ知らず、普通の中学生に全校もれなくこれを持たせて教育した先生はおそらく皆無であります。私も弟が持っていたのを保存していますが、この話のため、標題をみたいと思い探しましたが、どこへ

印刷物の名が申せません。これ等の教育が昭和八年頃からずっと行われたのですから、先生の見識もわかるというものです。また先生はあの時代に、広く各種の運動をやるよう訓練教育をしたのです。球技であると鉄棒運動であろうと、あらゆる種類のスポーツをやらされたものです。例えばバスケットボールのランニングシュートが試験に出るので、運動神経のない連中など汗水たらして真剣に練習していました。この練習の中にいつの間にか、バスケットボールの基本もわかり、どうやら一緒にバスケットも出来るようになります。私は中学を卒業して上の学校へいくと、よく柏崎中学出の連中は万能だといわれたのです。これは島掛先生の教育の賜ものであることは説明の要がないでしょう。また先生は小成に安んじさせなかつた点に於てもすばらしかったと思うのです。たえず上をみさせ、先を見させ、放課後の各部の練習などには、ときどきどの部へも姿をみせ、自らやってみせたり、理論の説明をしたりしてコーチしたものでした。ですから、どの部の連中でも島掛先生には一目も二目もおいていて、

「タイチヨウさん」というニックネームというよりは尊称を奉り、心服していたのです。夕

イチヨウというのは「隊長」という説になっていますが、実は先生は松本の産で「あいつ」という言葉は私達も使うことがあります。ところが先生の発音は「ダイシヨウ」というべきところ「タイチヨウ」と聞える村松弁が出るのです。本当はこれがニックネームの真相なのです。が「隊長」と考えて誰も怪しまないところに先生の真価があると思います。生徒を小成に安んじさせないためには自分自身も勉強を怠らないのは勿論、ロスアンゼルス、ベルリン両オリンピックは視察に出かけ、そのついでにアメリカ体育、ヨーロッパ体育の視察をやって来ています。今なら何の苦もないことです。今なら何の苦もないことですが、あの当時は会場へつくまでに二週間もかかる時です。体育に対するはげしい情熱がなく

は出來ることではありません。島掛先生着任後の柏崎中学は陸上競技部は不動の強さを發揮しましたし、庭球も水泳も強く弱い運動部というのはほんの一、二といつてもよいような有様でした。島掛先生は、学校体育の分野において、柏崎に新しい活動を入れたということが言えました。それは教育の基本として、教育があるという固い信念です。島掛先生は、学校体育の

「体」の上に知育と德育というものが成り立つとでもいいたらよいでしょう。当然のことながら、それは低い次元の健康といふ概念に留まるなどを許さず、より高きもの、より強きものへと前進させようとしたのです。当時の体操の先生というのは、とかく教員としての地位が低く、また人物的に野卑な人もいましたが、島掛先生が一段と重きをなしていたのは、先生が教育としての体育とは、あらゆる基礎的身体訓練をすることであり、それはすべての出発であり、根本との信念が、他の先生方をして犯すべからざる威力となつたことあります。先生の指導が油の乗つた昭和八年、父兄会(いまのP.A.T.のようなもの)において一部の父兄から「体育偏重論」が出されたのです。上級学校の入学率が落ちたのは、島掛先生が余り体育をやらせるせいだというのです。この論の急先鋒の人は私のよく知っている人で、もはや故人ですが、残念ながら柏崎の出身者ではなかつたのです。体育を尊重する柏崎の風土にはじめなかつたのかも知れません。この体育偏重論に憤激した島掛先生が、運動部の選手が如何に成績がよいかを具体的に数字をあげて反論したのが印象的でした。結局この劇

とじましたが、当時を思ふと感  
慨無量ですね。

島掛先生の体育思想からいえ  
ば運動選手が成績がよくて当然  
であり、体育偏重論なんてもの  
は引かれ者の小唄とでも解釈し  
ていたのでしよう。考えてみま  
すと先生の教え子の多い柏崎市  
役所が職員採用をするのに体力  
テストをし、かつこれを重く見  
ているのも、見方によつては島  
掛先生の教えがにじみ出ている  
のかも知れませんね。とにかく  
先生自身が自らの目で諸外国を  
みて来ており、理論的にも勉強  
され、かつ頑健な肉体をもつて  
指導されるから、生徒が小成に  
安んじられるわけがありません。  
柏崎の学校体育はかたい基礎と  
その上に立派な建築がたつたの  
です。現在の柏崎体育に於ける  
学校体育は、高体連、中体連、  
小体連とあります、この中に  
島掛先生の跡を追う先生が多く  
出て下さることを望みたいです  
ね。時代がいかように變ろうと  
も、学校体育はやはり国民体育  
のエンジンであるのですから。

さて私は洲崎・坂田・島掛三  
先生の体育思想を追つてこま  
で来ましたが、今から思ひます  
と、洲崎先生は、柏崎体育は文  
化的基盤に立つ体育理想を持た  
ねばならないとされ、御自分は  
青年団の指導を重点にこれを生  
かして活躍されたとみることが出  
ります。柏崎という多大な影響  
を受けたのであります。洲崎先  
生の学究的体育理想論に対し、  
実践的、体験的体育觀をもつて  
指導に当られたと思うのです。  
従つて職業柄学校体育にも実績  
をあげられましたが、それにも  
まして、朝体操、納涼体操、体  
育民踊、体操クラブなどといわ  
ゆる社会人の体育に全国的成果  
をあげられたのです。島掛先生は  
教育学的觀点から体育のあり方  
を追求され、それを具体的に柏  
崎中学という舞台に現出された  
のです。また、洲崎先生は、柏  
崎という土地に、このような体  
育をという見取図を書かれたと  
もみることが出来ました。そこ  
で、坂田先生が、体操という基  
本的、本質的な土台をガッツリ  
と積み重ねられたというべきで  
す。このように全体図と基礎の  
出来ている所へ、島掛先生が学  
校体育という限られた、そして  
やり方によつては拘みよい環境  
で、立派な家屋を建てられたと  
いうことがいえるのです。この  
三人の先生は實に順序よく登場  
して來ているわけです。島掛、  
坂田、洲崎という順になつては  
柏崎体育はなかつたでしようし  
て、何となく柏崎体育を……  
ということが多いので、過去か  
かの質問をさせてもらつて、柏  
崎体育の流れを明確にしていき  
たと考へました。次号にも続  
きを載せたいと考えています。

できます。坂田先生は、洲崎先  
生の学究的体育理想論に対し、  
実践的、体験的体育觀をもつて  
指導に当られたと思うのです。

## 一 地区体育協会紹介——鯨波体育同人会——

会長 佐藤 寛治

もが打ちのめされた心身を少し

でも明るく健康なものにしよう

「と地区的スポーツ愛好者同志

が呼び合つて結成したもの

である。しかし当時スポーツを

するといつても何の施設も用具

もなかつたため、まず地区民と

小学校の教職員に協力を求め、

當時生活におわれていたにもか

かわらず、全区民が一丸となつ

て、御野立公園の一角を切り開

きグランドを作つた。そして完

成を祝して行なわれた小学校児

童と学区民合同の運動会の盛況

は目を見はるものだった。それ

以後このグランドは屋外運動場

の狭かつた鯨波小学校児童の体

育の場として役立ち区民にとっ

ても自身の健康のために陸上競

技や早起き体操会を開くなどし

て大いに活用された。

これらがきつかけとなつて地

区民のスポーツへの関心が高ま

り会員も増え活動も活発になつ

た。好きな者同志の集まりから

活動してこられた、月橋副團長

さん、事務局として、いくつ

ら柏崎体育団の中核で率先して

の室内球技を始め、民謡講習に至るまで毎週種目を決めて、老若男女が汗を流している。そして年行事としての学区内の町内対抗野球、卓球、バーボールの各種大会は恒例になっており春秋のハイキング、六月の学区民大運動会、冬のスキー教室は親子共々の体力づくりとして小学校PTA共催で行つてている。学校P.T.A.共催で行つていている。これら行事の計画と運営方法は毎月役員会で検討し、各担当部が責任を持って任に当る事にしている。市主催の各種スポーツ大会への参加も積極的に行なつた。そこで昭和四十六年春には柏崎市保健体育功勞として団体賞を受賞した。これまで常に上位入賞を成し遂げてきた。そして昭和四十六年春には柏崎市保健体育功勞として団体賞を受賞した。これらの足跡が地区民の信頼を博すにつれて、地区民の体力づくりに取り組む方針が町内会の総会で決定された。町内会の組織内に体育部を設け同人会と常に綿密な連携を取り当会の活動を支援しようというので来年、発足以来三十年を迎える鯨波体育同人会は地区民の健康な体力づくりの一役を担うとともに、スポーツを通じての地区的コミュニケーションの場となつてきている。

# 柏崎野球連盟の実態

## 事務局長 小山正造

今回は第91号のバスケットボール協会に続いて、野球連盟から活動の様子を紹介していただきました。

毎年、四月第一日曜に開幕、

十一月第一日曜に完了という長いスケジュールを消化していますが、時に天候に禱いされ、又球場や審判員の確保に都合がつかなくなることもありますがとにかくやりりにも大会を完

了させることの出来ますのは、

一に関係各位のご協力の賜と感謝している次第です。

ご承知とは思いますが、柏崎

体育団加盟競技団体中一番の大

所帯である当野球連盟は、その

実態は次の通りです。

第1表 大会数	試合数	審判員延人數	チーム別			所在地別
			A級	B級	C級	
58	8	1				
	16	1				
	34	1				
	5	1				
	26	1				
	27	1				
	55	1				
	3	1				

58チームという数字は、当連盟の規模の上からすると、いさか多過ぎる数で、全軟連が意図する目的に添い得ないチームも多いことは否めませんが、スポーツ都市柏崎の期待に応え、又体育団が目指す「体育スポー

ツの生活化」のために、その門戸を開放すると共に、大きくなっている野球道の底辺拡大に努力している訳です。

因みに、昭和52年度行事結果の記録から集約してみますと

とですが、最近は優秀新人の補強が狭い門になってしまって、社の関係各位に心から敬意を表するものであります。

勤務と練習の両立は容易でないことは、どの競技でも同じこ

とですが、最近は優秀新人の補

強が狭い門になってしまって、

平均年令29才というチームも出

ている現状です。更に練習場の

確保に至つては誠に厳しい昨今

であることも不振の一因にあげられるでしょう。

スポーツをやる以上、ただき

れいごとだけを並べるだけが能

でなく、自らを律しつつ勝負の

世界に挑戦することを忘れない

で欲しいと思います。柏崎だけ

が特殊地帯ではないのですから

お互いに創意工夫をして陥路の

打開につとめ、練習即実戦を心

がけ、レベルアップに努めて欲

しいものです。

次に球場のことにつれてみま

すと、球場を確保することは事

務局の大事な仕事で、腕のみせ

どころといつたら誤解される

かも知れませんが、悩みの種は

何處も同じです。従つて加盟チ

ームの数に制限を加えたり、予

めでみました。

県大会を始め全国大会にすば

りました。

尚連盟関係の大会中、上部

へつながる大会名と、昭和52年

度中の結果を次の第3表にまと

めてみました。

この数字は、何れも連盟の協

力なくしては開催不可能の大会

数で、内訳は、連盟主催3、連

盟主管16、連盟協力(年中行事

的な大会)50となっています。

この数字は、何れも連盟の協

力なくしては開催不可能の大会

数で、内訳は、連盟主催

# 具体化進む

## 佐藤ガ池運動公園

### —柏崎市教育委員会体育課—

佐藤ガ池がいよいよ体育施設に生まれ変わることとなつた。佐藤ガ池一二九、〇〇〇m<sup>2</sup>を中心とした付近一帯の開発利用については、かねてから都市計画サイドで運動公園としての計画が進められ、昭和五十年十二月には基本計画ができ上り、検討が進められているものである。

この計画によると、総面積五四万三千平方m<sup>2</sup>に

A、シンボル広場、駐車場（八五〇台）緑のプロムナード等五四、一八〇m<sup>2</sup>のエンタラスゾーン  
B、野球場、円形広場、体育館サッカーフィールド（二面）テニスコート（十二面）陸上競技場、池、等一四一、六八〇m<sup>2</sup>のスポーツゾーン

五〇台）緑のプロムナード等

五四、一八〇m<sup>2</sup>のエンタラスゾーン

C、自由広場、花園、水性植物園、野外ステージ、彫刻の森

キャンプ場、魚釣り池、憩の森、芝生広場等二九八、四八〇m<sup>2</sup>の森林公園ゾーン

D、苗園、四八、八五〇m<sup>2</sup>のフ

ラワーセンターゾーン

の施設をするもので、体育施設

では公式の試合も可能であり、かつ市民の日常的利用を考慮した構造とし、大きな芝生広場、自由広場は多目的な運動が可能更に、野外ステージ、キャンプ場、魚釣り池、池、花園、憩の森、緑のプロムナードは春夏秋冬それぞれ、子供、若者、家族のレクリエーションの場として活用されるよう配慮されたものである。

ところがこの計画は、山林、農地等約四〇万m<sup>2</sup>の買収を含め総額五〇億の巨費を要する事業であり、都市計画法による計画決定の未了、農地転用時期等の関連もあり、その推進は前途多難なものがあつた。

しかし、電源三法交付金による整備事業策定にあたつて、にわかに佐藤ガ池運動公園が脚光をあび、その建設が体育施設整備事業として進められることがなつたのである。

即ち、東京電力の原子力発電所の建設により、発電用施設周辺地域整備法に基づき、向後五年間に三十三億円が交付される

では公式の試合も可能であり、かつ市民の日常的利用を考慮した構造とし、大きな芝生広場、自由広場は多目的な運動が可能更に、野外ステージ、キャンプ場、魚釣り池、池、花園、憩の森、緑のプロムナードは春夏秋冬それぞれ、子供、若者、家族のレクリエーションの場として活用されるよう配慮されたものである。

この佐藤ガ池運動公園第一次整備計画は、先の基本計画のうちスポーツゾーンの一部九五、〇〇〇m<sup>2</sup>を整備しようとするもので、総額三億七千八百二十万円で野球場ほかテニスコート二面、サッカーフィールド二面等の施設を作る。このため広大な佐藤ガ池は埋め立てられ、約二万m<sup>2</sup>の水面を残すのみとなる。

以上の施設を主とし、その補助施設、管理施設として次のように施設、管理施設として次のようにな事業、工事を行う。

○用地買収 五、〇〇〇m<sup>2</sup>  
○道路及び河川改修 四八〇m  
○池の埋立、盛土、築山〇園路、巾三、五m及び二、五m、延長一、三〇〇m  
○植栽をする  
○便所 三棟  
○給電、排水、給水工事  
○くず入れ、すいが入れ  
○水呑

○インスタンド、陸上競技場、体育馆の建設、駐車場、池の整備等第二次以降に残された事業が相当量ある。佐藤ガ池運動公園完成まで永い期間がかかる。

### ◇テニス場

クレー、コート十二面、管理棟、コンクリートスタンド

（五段八〇m）、全コートを

フェンスで囲う。

### ◇円形広場

直径三六mの円形広場。多目的運動広場として使用する。

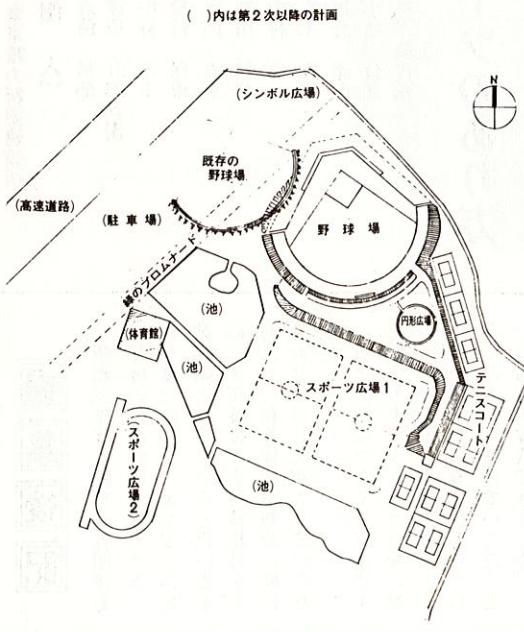
以上の施設を主とし、その補助施設、管理施設として次のようにな事業、工事を行う。

○用地買収 五、〇〇〇m<sup>2</sup>

以上の施設を主とし、その補助施設、管理施設として次のようにな事業、工事を行う。

○用地買収 五、〇〇〇m<sup>2</sup>

以上の計画が確定すれば、工事は昭和五十三年度後半から三年計画で進められ、五十五年度に完成する。しかし、野球場メ



( )内は第2次以降の計画

# 昭和52年度賛助会員

## 募集終る

柏崎体育団の活動をより充実するため、賛助会員募集をさせていただきましたところ、多數のご協力をいただき本当にありがとうございました。

次の方々からご協力をいただきました。（順不同・敬称略）

### 【法人】

- 株式会社フジカ柏崎工場
- 株式会社馬里呂装苑柏崎事業所
- 株式会社研精舍柏崎工場
- 日本メック工業株式会社
- 柏崎青果株式会社
- 株式会社北星製作所
- 株式会社藤村ピューム管
- 川合 康弘
- 小熊 哲郎
- 中林 良
- 笠木 康平
- 河内 直史
- 竹田 毅朗
- 中林 保雄
- 天屋旅館
- 近藤 稔郎
- 渡辺 五郎兵衛
- 中野 イト
- 東京電力新潟建設所
- 株式会社コカ・コーラボトリング
- 株式会社
- 株式会社吉田鉄工所
- 株式会社近藤製作所
- 橋崎工業株式会社
- 株式会社春口鉄工所
- 理研ピストンリング工業株式会社
- 株式会社吉田鉄工所
- 株式会社柏崎工場
- 橋崎工業株式会社
- 柏崎シルバー精工株式会社
- 内田製作所株式会社
- 小松造機株式会社
- 理研鋳造株式会社
- 柏崎工場
- 日本石油加工株式会社相崎工場
- 中村石油株式会社
- 柏崎工場
- 株式会社 北野屋
- 八幡開発株式会社
- 東洋木材株式会社
- 大和商事株式会社
- 株式会社 小林文英堂
- 株式会社 柏崎支店
- 明治乳業株式会社
- 株式会社 開拓工場
- 株式会社 朝日木材
- 株式会社名塚組
- 有限会社二井田自動車修理工場
- 株式会社 近藤組
- 株式会社 川合組
- 北日本食品工業株式会社
- 新潟日本電気株式会社
- 柏崎タクシー協会
- 株式会社 柏崎魚市場
- 株式会社石橋組
- 株式会社 登久満

## アマチュアスポーツのあり方

この度、(財)日本体育協会は、  
次のように「アマチュアスポーツ  
ツのあり方」を制定した。

### アマチュアスポーツの あり方

スポーツは、人々が楽しみと、  
よりよく生きるために、他から  
求められることなく、自らの能  
力に応じて行なう自由な身体活  
動である。明るい光と、すがす  
がしい環境の中で行なわれるス  
ポーツは、そのまま豊かな国民  
生活の形成に役立つものとなる  
う。

願い、ここにアマチュアスポー  
ツを楽しむ人々のあり方を定め  
た。

アマチュアスポーツマンは、  
一、スポーツを愛し、楽しむ  
ために、自発的に行なう。

二、ルールに従い、フェアプレーに終始する。  
三、常に相手を尊重しつつ、  
自己の最善を尽す。

四、スポーツを行なうことに  
よって物質的利益を求めるな  
い。

五、スポーツによって得た名  
声を利用しない。

このようにして育まれるス  
ポーツが、あまねく国民の間に行  
きわたることによって、健康な  
野でより一層の精進と飛躍を期  
待したい。

**一個人**

○東京電力新潟建設所

**編集後記**

昭和52年度も終り、各団体も  
53年度の諸計画の立案もでき、  
新年度に向ってのエンジンの始  
動開始となつてゐると思ひます。  
◎：本年度は、表彰特集号を1  
月20日の新春体育懇親会に間に  
合わせて当日配布させていただ  
きました。  
当日配布につきましては色々  
と懸念もありましたが会場に捨  
てていかれる方が一人もなく、  
当初の目的である、ひとりでも  
多くの人から読んでいただくと  
いう目的を達成できました。  
一年を振り返れば、  
◎：悲しい事として、外山三郎  
氏の死、昨年体育功労賞を受賞  
された、吉田好道氏の死があげ  
られる。  
◎：盛大に行なわれた「青の光」  
出版記念会、年々参加チームの  
増加する北陸バスケットボール  
大会、雨に泣いた、柏崎体育祭  
ローンテニス協会の東村山市訪  
問等を始め数多くの行事や、事  
業を終了しました。  
新年度早々には、東村山市の  
野球場ナイト開きに柏崎の工  
ラーズの東村山市訪問の話が出  
ています。  
新しい年度も各加盟団体の活  
躍を期待しております。